

## 活動終了報告書（要約）

採択年度	2022 年度
コード番号	22-A-279

団 体 名	特定非営利活動法人パレスチナ子どものキャンペーン	申請額
		1,000,000 円
事 業 名	パレスチナ難民キャンプにおける教育支援・心理社会的支援を通じた子どもと家族への支援	助成額(受領額)
		1,000,000 円
		事業地(国名)
		レバノン

## 組 織 及 び 事 業 概 要

## ■ 組織概要〈創立年、趣旨、主な活動等〉 \* 300 字以内

パレスチナ子どものキャンペーンは 1986 年の設立以来、未来の希望である子どもたちの成長を支援し、平和の実現につなげるため、また、子どもや障がい者、女性、難民、国籍や市民権が必要な人たちなど社会的に弱い立場にある人々が安心して暮らしていける社会の実現を目指し、活動している。パレスチナやレバノンなどの中東地域を中心に、教育支援、医療・保健支援、心理社会的支援、食料・越冬支援、女性自立支援、心理社会的支援などを行なっている。

## ■ 今回実施した活動の概要\* 400 字以内

レバノン北部のバダウィ・パレスチナ難民キャンプで活動する現地団体と協力し、同地域に暮らす小学 1～3 年生のパレスチナ難民の子どもを対象に学習支援を実施した。子どもたちが通学する UNRWA (国連パレスチナ難民救済事業機関) の学校のカリキュラムに合わせ、アラビア語、算数、英語の基礎 3 教科について、学校の授業の復習や宿題の補助を行った。レバノン全体の経済状況の悪化等により子どもたちを取り巻く学習環境が厳しくなる中でも、子どもたちがドロップアウトすることなく適切な環境で学習を継続できる機会を提供した。

また、同団体のソーシャルワーカーと連携し、子どもの家族も含めたコミュニティの人々に対し、心身の状態の悪化を防止、または改善することを目的とした心理社会的支援を実施した。ソーシャルワーカーは個別面談や、メンタルヘルスに関する理解の促進や、参加者や地域住民の助け合いの体制を広げていくための活動を実施した。

## ■ 成果 \* 400 字以内

難民キャンプに暮らす子どもたちは、読み書きや数の理解、注意力、コミュニケーション能力の低さなど、様々な直面していた。本事業の学習支援では、少人数のクラスで、指導員が 79 人の子どもたちのそれぞれの理解度やニーズに合わせた多様な指導・支援を実践した。結果、子どもたちの集中力の向上や学習能力の向上、自尊心が増すという変化が見られた。

ソーシャルワーカーによる個別面談では、特に脆弱性が高く支援を必要とする難民 89 世帯の家庭を訪問し、人々が日々抱える悩みをヒアリングし、それらへの対処法や家庭内でできるアクティビティを一緒に実践した。また若者や母親を対象にしたメンタルヘルスに関する啓発活動や、住民同士の助け合いのワークショップにはのべ 351 人が参加し、参加者はストレスマネジメントやセルフケアなどを学んだ。参加者からはこれらの学びが今後の生活に役立つという声が多く寄せられた。

\* 記載者へのお願い: 本概での記述は本紙一枚に収めるようにして下さい(全体で 1100 字以内程)。